



DAISUÉ

個人投資家様向け 会社説明会

大末建設株式会社

2022年1月28日

(証券コード：1814)

本日のテーマ

- 1.会社紹介（動画あり）
- 2.業績などの推移
- 3.プライム市場選択
- 4.成長戦略、企業価値向上策
- 5.配当政策
- 6.株価推移
- 7.ガバナンスの強化

1.会社紹介（動画あり）

2.業績などの推移

3.プライム市場選択

4.成長戦略、企業価値向上策

5.配当政策

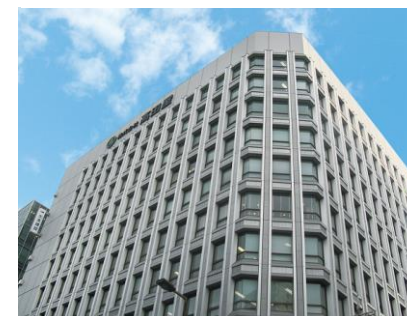
6.株価推移

7.ガバナンスの強化

会社概要

■ 社名	大末建設株式会社
■ 英文社名	DAISUE CONSTRUCTION CO.,LTD.
■ 本社	大阪府中央区久太郎町二丁目5番28号
■ 設立	1947年3月20日
■ 資本金	43億円
■ 従業員数	連結626名（2021年9月）
■ 上場証券取引所	東京証券取引所市場第1部
■ 事業所	全国6拠点 大阪、東京、名古屋、仙台、高松、福岡
■ グループ会社	大末テクノサービス株式会社 やすらぎ株式会社

本社・大阪本店



東京本店



ホームページはこちら⇨



1937

創業者 山本末男が
大阪府南河内郡丹南村
(現 松原市)に山本工務店を創業

1947

株式会社大末組を設立

1961

大阪証券取引所第2部に上場

1967

大阪、東京証券取引所第1部に
上場

1970

社名を大末組から大末建設株式
会社に変更

2009

本社を大阪市中央区久太郎町に
移転

2018

ミサワホーム株式会社と資本業務
提携締結

2022

創業85周年

当社の事業（住宅分野）

当社の事業は、業界トップクラスの施工実績を持つマンション建築を中心に、多彩な建築物を幅広く手掛ける非住宅建築、既存建物の増築やリノベーションなどを請け負うリニューアルで構成されます。



住宅分野

分譲・賃貸マンション、公営住宅、社員寮など

3大都市圏を中心に全国で多数の分譲マンションを建設しており、業界トップクラスの施工実績があります。豊富な実績により培われたノウハウとお客様からの高い信頼が当社の強みです。都市型のコンパクトマンションから複数棟にわたる大型マンションまで、お客様のご要望にお応えし幅広く物件を手掛けております。

施工実績（住宅分野）

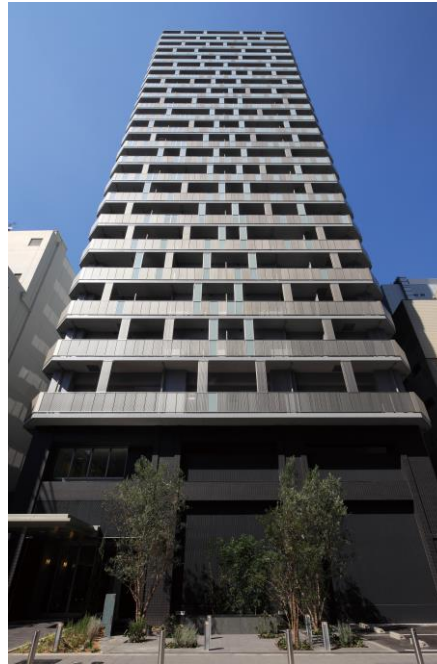
リーザス南千里/2007年1月



大阪府営苅田住宅/2009年11月



Brillia City 千里津雲台/2019年12月



プレミスト南船場
/2012年9月



プライウド朝霞台/2021年1月

当社の事業（非住宅分野）



非住宅分野

オフィス、物流倉庫、工場、医療・福祉施設、 冠婚葬祭、文化・教育施設など

オフィス、物流倉庫、工場、医療・福祉施設、商業施設、教育施設など、ジャンルを問わず数多くの建物を手掛けております。中でも結婚式場、葬祭場といった冠婚葬祭施設は首都圏を中心に多くの施工実績があります。近年は需要が拡大している物流倉庫の受注に力を入れております。

施工実績 (非住宅分野)

松原市新庁舎/1995年7月



大阪府布施警察署/2010年10月



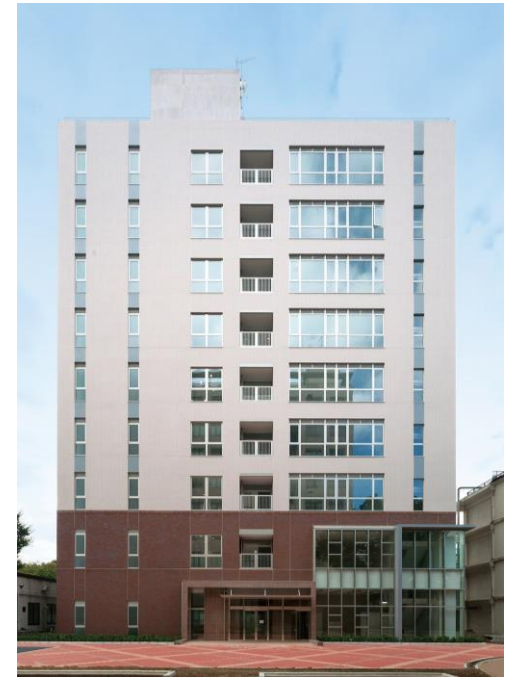
王将フードサービス東松山工場
/2016年1月



富田林市総合的文化施設
すばるホール/1991年6月



東成消防署/2013年3月



千葉大学(西千葉)総合研究棟
/2014年12月

施工実績（非住宅分野）

堺保健センター・市役所立体駐車場
/2021年9月



海の森水上競技場/2019年6月



日本生命浜松町クレアタワー
/2018年9月



三菱UFJ銀行大阪ビル/2018年5月



芦屋市立山手中学校/2021年3月



ロジスクエア川越Ⅱ/2019年6月



リニューアル

既存建物の補修・増築、リノベーション、 建物診断、耐震診断、耐震補強など

修繕から改修や増築、耐震診断、耐震補強に至るまで、建物にまつわるお客様のあらゆるご要望にお応えしております。リノベーションやコンバージョンなど、比較的大規模で難易度の高いリニューアル工事にも対応できる力があります。建物の再生や長寿命化を通じて、持続可能な社会の実現に貢献しております。

施工実績 (リニューアル)

ATC・ITM棟改修/2011年8月



Hotel Noum OSAKA
/2019年7月



山陰・はわい温泉望湖楼/2019年8月



大阪工業大学大宮キャンパス2号館建築学科改造
/2018年2月



西濃運輸株式会社神明支店改修
/2021年3月

ESG/SDGsの取り組み

ESG/SDGs貢献へ管理指標を設定。事業活動を通じ取り組みを推進中。

分野	取組みの例	目標管理指標	SDGsターゲット	2022年3月期 第2四半期実績
E 環境問題解決 (Environment)	既設建物の長寿命化	リニューアル・リノベーション受注金額	  	20億円
	S 社会課題解決 (Social)	現有建造物の強靱化	耐震改修工事の受注件数	 
建設技術の研究開発		新規技術開発の取組件数	 	0件
生産性向上		社員1人当たり売上高向上率	  	—
G 企業統治 (Governance)	コンプライアンス意識向上	役職員への教育回数	 	7回

知名度向上の取り組み

知名度向上のため、様々な取り組みを行っております。“だいまつ”でも“おおすえ”でもありません。“**だいすえ**建設”です。

「THE TIME,」5秒CM提供(関西ローカル)

DA

だ

大

だ〜い

DAISUÉ 大末建設

だいすえ

【MBS毎日放送】月～金曜日朝6時50分前後 提供中

大阪メトロ堺筋線堺筋本町駅アナウンス広告

『建築に挑戦し続けて84年 大末建設』にお越しの方は、次でお降りください

堺筋本町駅を通過する電車の2本に1本、北浜駅～堺筋本町駅間、堺筋本町駅～長堀橋駅間で流れます

15秒PR動画

クイズ編

インタビュー編



東京メトロ、渋谷ビジョン、YouTube広告にて限定公開

SNSの活用



Twitterにて情報発信

本日のテーマ

1.会社紹介（動画あり）

2.業績などの推移

3.プライム市場選択

4.成長戦略、企業価値向上策

5.配当政策

6.株価推移

7.ガバナンスの強化

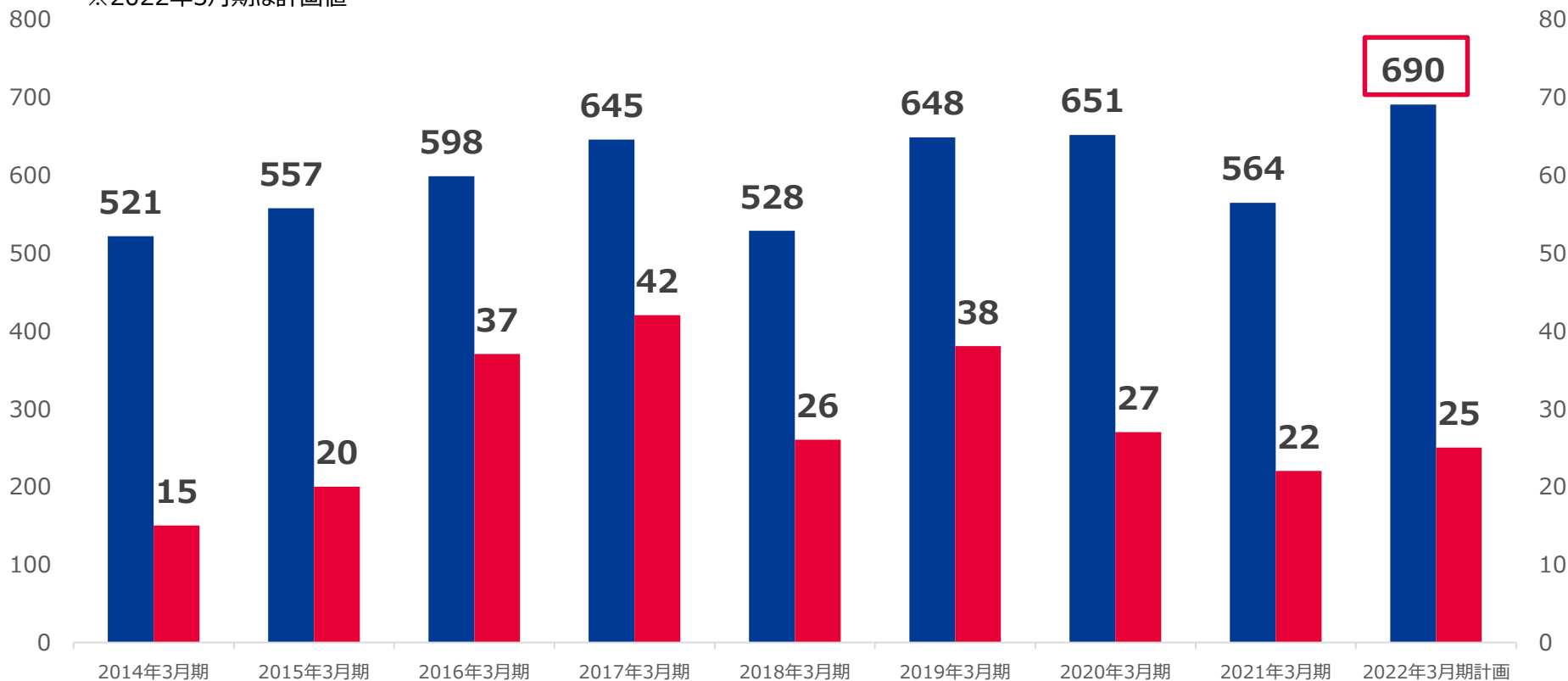
業績ハイライト 売上高、営業利益

2022年3月期は増収増益を計画。売上高は700億円台が視野に入る。

売上高と営業利益の推移（2014年3月期～2022年3月期計画）

■売上高 ■営業利益（単位：億円）

※2022年3月期は計画値



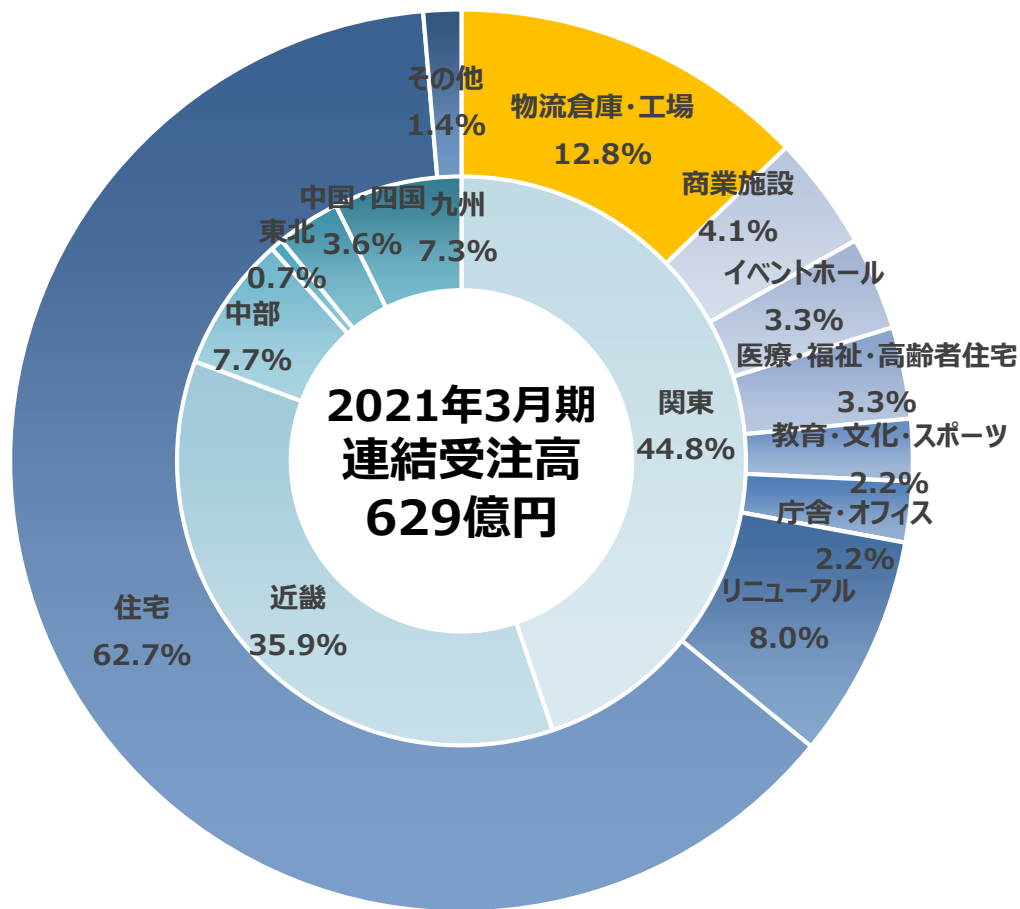
業績ハイライト 分野別、地域別受注高

需要を着実に取り込み物流倉庫の比率が拡大。

	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期
連結受注高（億円）	638	610	629	675

分野別シェア

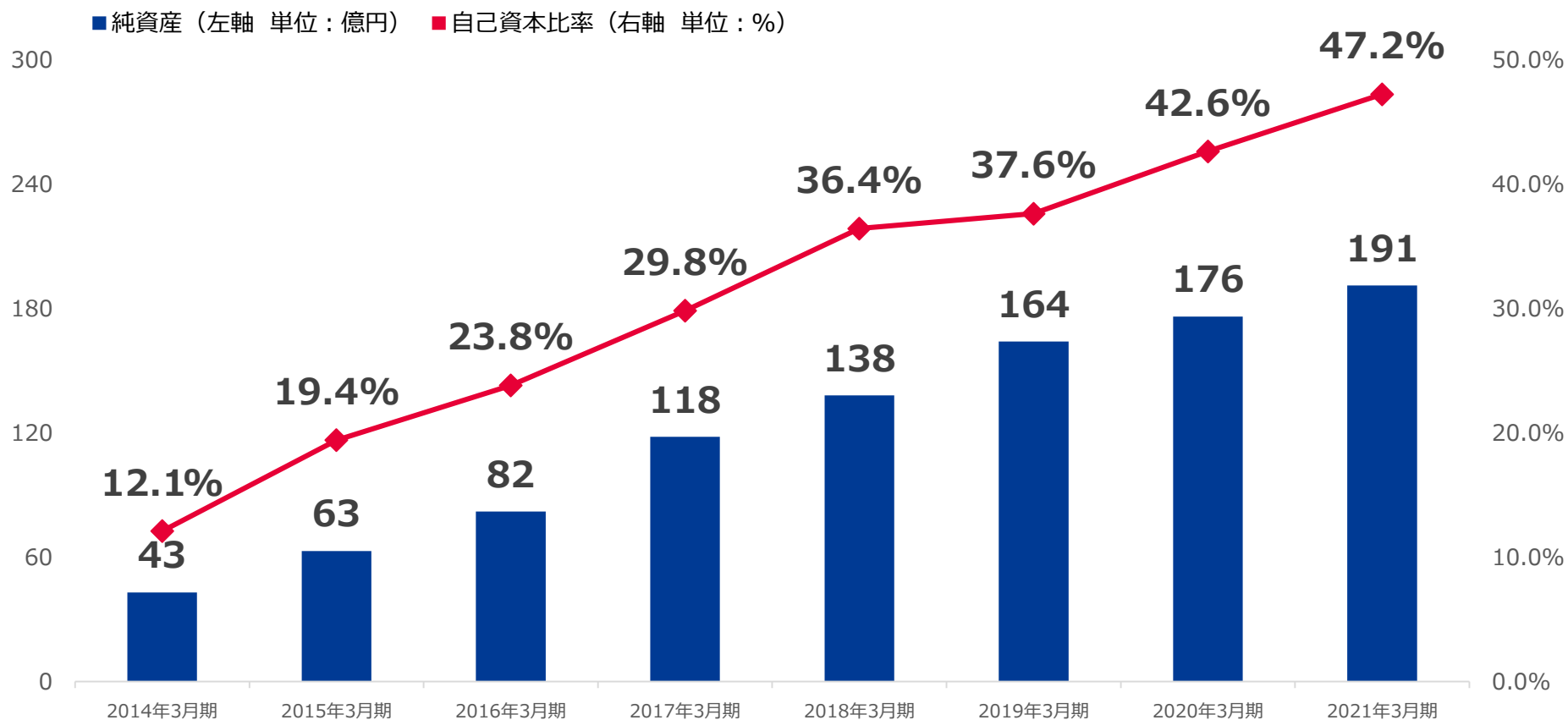
非住宅	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期
物流倉庫・工場	4.0%	3.3%	12.8%	-
商業施設	10.1%	2.8%	4.1%	-
イベントホール	4.6%	2.7%	3.3%	-
医療・福祉・高齢者住宅	3.9%	0.1%	3.3%	-
庁舎・オフィス	2.6%	4.5%	2.2%	-
教育・文化・スポーツ	3.4%	1.1%	2.2%	-
リニューアル	9.8%	11.4%	8.0%	9.1%
住宅	59.0%	72.0%	62.7%	59.3%
その他	2.5%	2.1%	1.4%	1.5%



財務基盤 純資産、自己資本比率

自己資本比率は40%台後半まで上昇。

純資産と自己資本比率の推移（2014年3月期～2021年3月期）

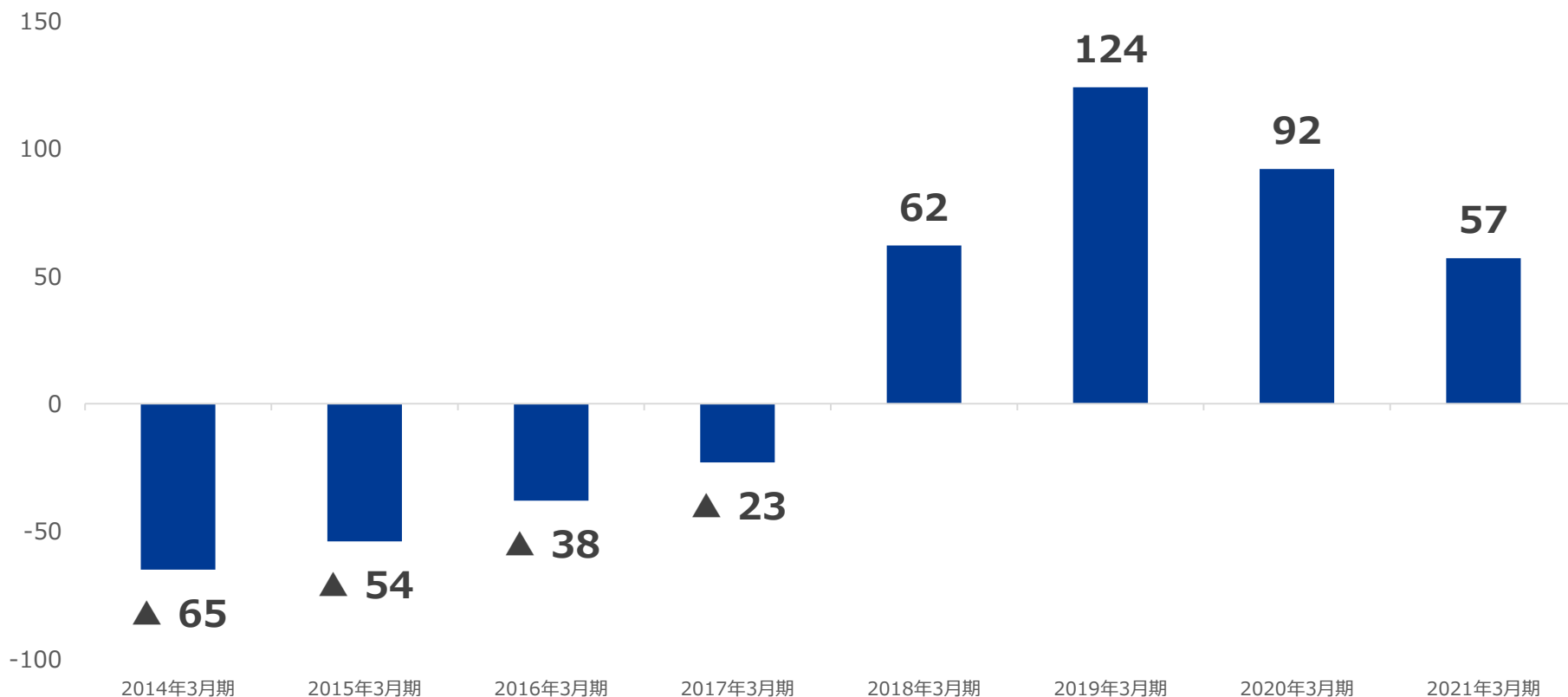


財務基盤 ネットキャッシュ

借入を圧縮し、2018年3月期以降実質無借金を継続。

ネットキャッシュの推移（2014年3月期～2021年3月期）

■ ネットキャッシュ（単位：億円） ※期末の現預金から有利子負債を除いた額をネットキャッシュとしている



- 1.会社紹介（動画あり）
- 2.業績などの推移
- 3.プライム市場選択**
- 4.成長戦略、企業価値向上策
- 5.配当政策
- 6.株価推移
- 7.ガバナンスの強化

プライム市場選択および上場維持基準の適合状況

当社の移行基準日（2021年6月30日）におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、「流通時価総額」および「売買代金」について基準を充たしていない

	上場維持基準	当社の数値	
		移行基準日時点※ ¹	現状※ ²
流通時価総額	100億円以上	64.8億円	<u>92.5億円</u>
売買代金	0.2億円以上/日	0.09億円/日	<u>0.2億円/日</u>

※¹「新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果について」より
（2021年7月9日に株式会社東京証券取引所より受領）

※²いずれも当社試算。流通時価総額は2021年12月30日時点、売買代金は2021年1月～2021年12月の平均値



適合計画書記載の企業価値向上策を果敢に実行し、**2025年3月期**にプライム市場上場維持基準の適合を目指す

- 1.会社紹介（動画あり）
- 2.業績などの推移
- 3.プライム市場選択
- 4.成長戦略、企業価値向上策**
- 5.配当政策
- 6.株価推移
- 7.ガバナンスの強化

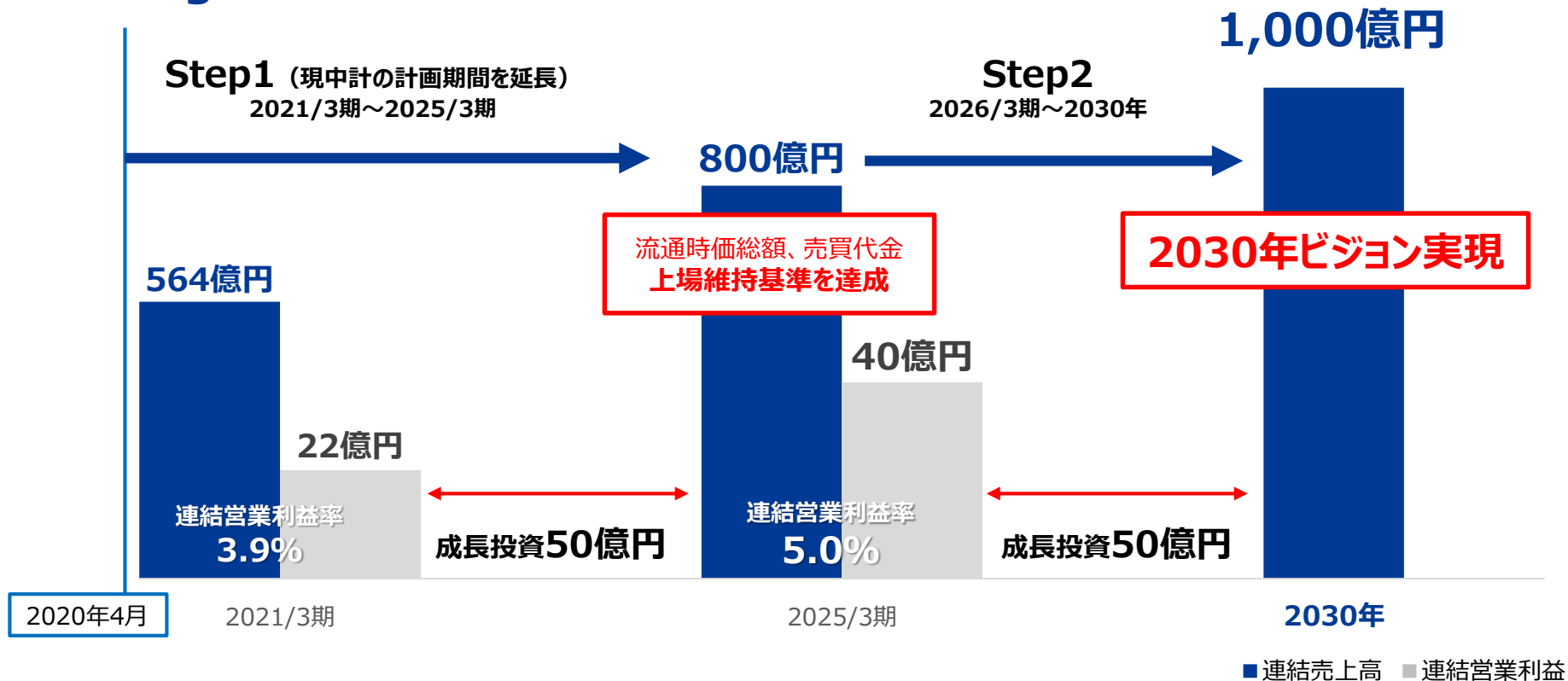
取組の時間軸 〈新マイルストーン〉

Step1・・・上場維持基準を達成

Step2・・・2030年ビジョンの実現

現中期経営計画

Challenges for the future



具体的な取組の内容

Step1:2021/3期～2025/3期

当社の課題	主な投資テーマ	投資額
DX化への対応の遅れ 営業利益率の低下（原価率の上昇） 受注規模の拡大	<ul style="list-style-type: none"> 建設現場を中心とするDX化（守りのDX） 工業化、BIM化などの推進による生産性の向上 受注拡大に向けた営業関連業務のDX化（攻めのDX） 50～100億円以上の超高層、超大型案件への進出 	50億円

Step2:2026/3期～2030年

当社の課題	主な投資テーマ	投資額
事業領域拡大 請負外の収益源の確保 ESG,SDGsへの対応、脱炭素社会への貢献	<ul style="list-style-type: none"> カーボンニュートラル実現に向けた、ZEB、ZEH、木造などのゼロエネ関連技術の開発、取得 土木事業への再進出 不動産事業への進出 再生可能エネルギーなどの環境事業への進出 	50億円

- 1.会社紹介（動画あり）
- 2.業績などの推移
- 3.プライム市場選択
- 4.成長戦略、企業価値向上策
- 5.配当政策**
- 6.株価推移
- 7.ガバナンスの強化

配当政策

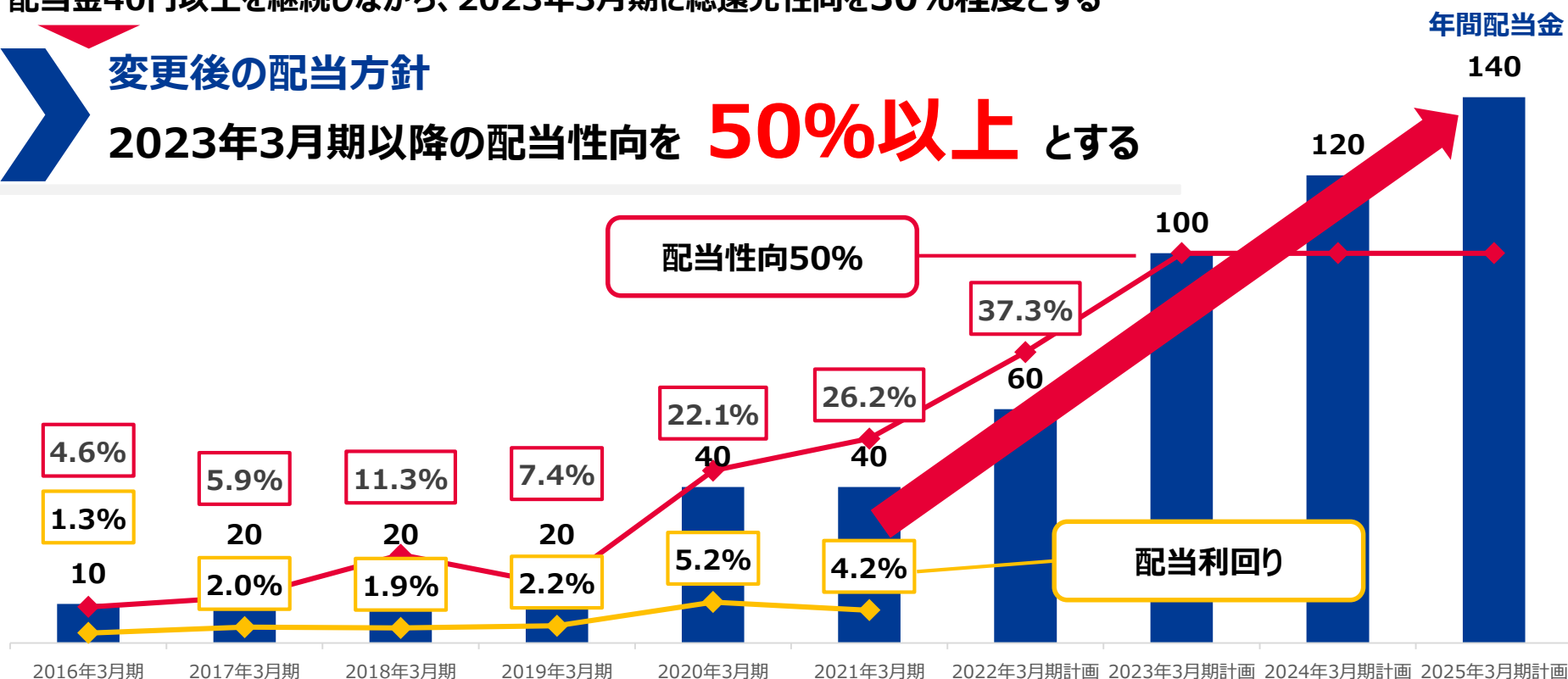
従来の配当方針を見直し、2023年3月期以降で配当性向を50%以上とする
積極的な株主還元を実施

変更前の配当方針

配当金40円以上を継続しながら、2023年3月期に総還元性向を30%程度とする

変更後の配当方針

2023年3月期以降の配当性向を **50%以上** とする



※2023年3月期以降の年間配当金は、現在の計数計画に基づくものです。実際の配当金額は、計画の達成状況により変動いたします。

- 1.会社紹介（動画あり）
- 2.業績などの推移
- 3.プライム市場選択
- 4.成長戦略、企業価値向上策
- 5.配当政策
- 6.株価推移**
- 7.ガバナンスの強化

株価はプライム挑戦を公表後上昇基調。直近最高値の1,400円台に迫る。

当社の株価と出来高の推移（2019年1月～2021年12月）



- 1.会社紹介（動画あり）
- 2.業績などの推移
- 3.プライム市場選択
- 4.成長戦略、企業価値向上策
- 5.配当政策
- 6.株価推移
- 7.ガバナンスの強化**



ガバナンスの強化

CGコード	取組事項	2016/3期	2017/3期	2022/3期 (現状)	2023/3期	2024/3期	2025/3期
【既に取組み済の項目】							
4	監査等委員会設置会社に移行		対応完了				
4-10①	指名・報酬委員会の設置、独立性	対応完了					
4-6	執行役員制度改定(委任型に統一)			対応完了			
4-2①	業績連動報酬制度導入		対応完了				
4-1③	サクセッションプラン策定			対応完了			
1-2④	議決権電子行使プラットフォーム			対応完了			
3-1②	英文開示・提供			決算短信 開示済		(開示範囲を順次拡大)	
【今後取組む項目】							
4-8	独立社外取締役3分の1以上 (スキルマトリクスの策定)			順次対応		対応完了	
3-1③	TCFD開示			順次対応		対応完了	
5-1	IR活動の活性化	決算補足説明資料開示					
				機関投資家、個人投資家向け説明会の開催		(適宜実施)	

安心と喜びあふれる空間を創造する会社



本資料に関するお問い合わせ先

大末建設株式会社 経営企画部

TEL : 06-6121-7127

E-mail : dai-info@daisue.co.jp

本資料に記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、
将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。